

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	環境月間事業「環境パネル展」		
担当部署・課長名	環境月間事業「環境パネル展」 課	環境公害 係	課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 環境の保全	施策番号	4 - 8	-
	総合計画書 (ページ)	99	

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 7	環境保全費	事業 2	環境月間事業費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) →人口 85,337人(平成31年4月1日時点)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民が環境パネル展を見ることにより、環境への意識啓発と環境情報の提供を行う。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) パネル展を通じて環境啓発が図られた人数及び市内小学校4年生のポスター展参加人数。
	③ そのために何をしましたか。 環境に関する啓発活動として、5月の第二土曜日から6月11日までの東大和市環境月間の期間中、庁舎一階ロビーにおいて各課の環境配慮の取組みについてパネル展を実施。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 実施日数 →

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337	/
	成果指標	②の数値	人	来庁者及び599	来庁者及び494	来庁者及び605	/
	目 標	②の目標値	%	/	/	/	/
		目標設定の考え方	市民の環境への意識を啓発し、実践に移してもらう。				
活動指標	③の数値	日	24	24	31	/	

3 経費	事業費(実績)		円	154,332	155,520	140,400	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	154,332	155,520	140,400	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	165,340	165,060	164,880	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	319,672	320,580	305,280		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 事業開始：昭和61年 東大和市環境月間を定め、市民への環境啓発事業の一環として、関係各課の取組みを企画展示している。近年は、地球温暖化対策が世界的に大きな課題となっているほか、自然環境や生物環境に対する市民の意識が高まっている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 環境問題は内容が変化しながらも重要度を増しており、市民の関心も高い。

仕 事 の 内 容	環境月間事業「環境パネル展」			
担当部署・課長名	環境月間事業「環境パネル展」 課	環境公害	係	課長名 宮鍋 和志

5 市民等の意見
 この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
 地球温暖化対策は国全体のみならず世界で取組み、市・事業者・市民が意識改革を実践し、行動することが求められており、市民・議会も大きな関心を寄せている。

6 市民協働
 (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）

取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
--------	------	---

(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点

7 課題
 (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容
 環境問題は多分野にわたるため、多くの関係課の積極的参加が必要である。
 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
 各課に対し、環境月間事業の趣旨の理解を求め、本事業への参加を呼びかけた。
 (3)(2)を踏まえた今後の課題
 市役所を訪れた市民が足を止めて見てもらえるような展示にする。

8 今後の方向性
 (1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
 限られたスペースであるため、よりわかりやすく印象に残る展示内容にする。
 (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
 市民への環境問題の意識啓発とともに、職員の更なる環境問題への取組みを推進する必要がある。
 (3)改革・改善案による期待成果
 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------